

"新時代" 切り開く

公明、党大会で結束し出発

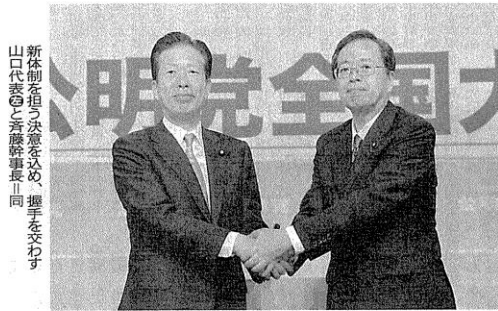
統一選、参院選 断じて勝つ

山口代表再任、幹事長に斉藤氏

公明党は30日、東京都千代田区の都市センターホテルで第9回全国大会を盛大に開いた。党代表に再登壇した山口代表は「新たな時期の2年間は、日本の未来を切り開く正念場だ。毎党、公明党員みな、必死と覚悟し、引き続き自己連立政権の一翼として、日本の未来に責任感を共有し、緊張感を持って国民の負託に強く応じていく」と決意を述べた。



新体制で勇躍出発——。統一地方選、参院選の勝利を誓い、勝ちどきを上げた党全国大会
=30日 東京・千代田区



新体制を担う決意を込め、握手を交わす
山口代表と斉藤幹事長

山口代表は「公明党が多種多様な人々の期待に応える『希望』を担う政策として誕生した歴史に、いかなる時代を迎えても『公明党は』『大衆と国民』の立憲精神から出発し、課題の対話の中で国民の悩みや望みを探り、その解決に向けて政策を練り上げていく行動原理を貫くと力説した。重要政治課題への取り組みについては、人口減少や地方議会で具体化してい

強。また、来年の統一地方選、参院選の勝利へ、5年間の結党50年を記念して立憲精神を燃え上らせ、公明党の新時代を切り開くため、緊張感を持って進めようと呼び掛けた。大会では、斉藤幹事長が本部役員が承認された。2面に人事一覽と関連記事、3面に山口代表のあいさつを掲載。

また、近年の激甚化、多発化する災害への対応は、これまでの発想を超えた抜本的防災・減災対策を講じなければならぬ」と指摘。具体的には、被災地への緊急支援を行うとともに、大規模災害時の課題であるライフラインの維持に大胆な予算措置を講じるべきだと力説した。

党大会では、来賓として日本銀行副総裁(自派総裁)が出席し、あいさつ。創価学会の原田光治主任副会長(中央社会協議会議長)らも来賓として出席した。

この必要性を指摘した。さらに、来年の統一地方選、参院選に勝利し、公明党のネットワークの力や政策を強化するため、一人一人が持つ力を総結集し、これに先立ち代表選出が行われ、党規約17条3項の規定に基づき、ただ一人の代表選出候補として確定した山口代表が出席議員の賛成を得て再任。山口代表は新役員を指名し、井上義久副代表、北側三雄中央幹事会長、前代表、斉藤幹事長、石田祝穂政務調査会長ら本部役員32人が半数多数で承認された。

党大会では、来賓として安倍三首相(自派総裁)が出席し、あいさつ。創価学会の原田光治主任副会長(中央社会協議会議長)らも来賓として出席した。

党大会後に開かれた第1回中央幹事会では、常任役員人事を了承し、幹事長指名人事で新たに高木陽介副会対策委員長、佐藤茂樹選挙対策委員長が就任した。